

・作業内容 電線路補修(引止装置補修、代用トロリー張替含む)

平成29年8月20日

・区間 野上～長瀬

・柱番号 2～3号柱

秩父建設 皆野事業所

・図面 別紙

・実施予定日 平成 年 月 日

・現状

・作業手順

① 準備

1 支線部、(新)支線・止バンドを取付けておく。

2 引止部、(新)代用トロリーを作り込んでおく。

3

4

② 配置

A班

支線

B班

柱

C班



D班

E班

A班

支線部張替え(埋設ロットペンキ補修含む)、終了後(引止部張替えを行う)

B班 引止部張替え・他(代用トロリー張替え、端碍子切込み)

③ 手順 A班 支線張替え作業

- 1 (新)支線バンドを(旧)U字金具の上部に取付ける。(支線バンドは逃げる場合があるので必ず旧U字金具の上に取付ける旧U字金具は撤去しない)
- 2 (新)垂鉛鋼鉄線(ロッド・碍子)を取付けておく。(下部にまとめて緊縛しておく)
- 3 上記屋間作業で用意しておく
- 4
- 5 ① (旧)支線を取り外す準備:埋設ロッド部にクランプ(300#)を取付け、1.5Tシメラーで張力をかけ、旧支線を外しておく。
- 6 (新)支線を取り付ける:支線を埋設ロッドに通す、通した線と本線にシメラー(3T)をかける。
- 7 (新)支線に張力がかかったら(旧)支線を取外し撤去する。(吊・電)
- 8 2線用クリップを本線袴で取付ける。×3
- 9

③ 手順 B班 引止部代用トロリー張替え作業

- 1 (新)代用トロリーを作り込んでおく。(端碍子はまだ切り込まない)・・・5m程余分に作る。
- 2 ターンバックル(残160mmで調整しておく)・・・※ 昼は×、傷がついたり左右の長さが変わるから、夜間に吊りあげる際に調整する。
- 3 上記屋間作業で用意しておく
- 4 A 回り止めの台棒を滑車に挿入しておく。
- 5 B シメラー(3t)をかける。(鉄柱台付けを調整して取付け、碍子にヨークを取付た間をシメラーで取る)
- 6 C シメラーに張力がかかり、旧線が弛んだら外し、(新)タンパ部を取付けておく。
- 7 D 滑車に新線をかけておく。(シメラー0.5tで滑車部から旧線を外しておく、その滑車へ新線を通し・・・)、(G)旧線部にロープをかけておくこと
- 8 E 滑車へ通したら、セビをかけて新線の弛みを取れるだけ取っておく。
- 9 F 取れたら、シメラー(3t)をかけて張力をかけていく。シメラーがかかったら、Aの回り止とBのシメラー(3t)他を外しておく。
- 10 H ステンレス(棒)ハンガーを旧線→新線へ掛け替える。(中間部で旧線にロープをかけておくといい)
- 11 F 旧線にセビを掛け替え旧線を下す。(ロープカムロンでもよい)
- 12 BS接続を行う。(旧線が下りたら丸めて撤去する)・・・関連カ所すべての材料工具を撤去確認する。
- 13 I 端碍子の切り込みを行う。(電・吊の碍子の位置を確認・・・夏場は取り・冬は入れ)
- 14 撤去・片付け・・・全員で跡確認を行う。